

一般質問

本
宮
議
員

○松浦魚市場の再整備に伴う諸問題について

質 松浦市魚市場は開場前から、当初の計画として前浜地区までの水産加工団地を計画しております。既に、現在の水産加工団地の用地は完売しており、調川港湾整備計画として第二水産加工団地の造成計画を検討して国や県に挙げていただきたいと思います。ですが、ご所見を伺います。

市長 魚市場で水揚げされる水産物の付加価値向上を図り、海外へ輸出促進を図るという観点から、新たな加工団地の整備も必要であると認識しています。周辺住民の皆様並びに地元漁業者などのご理解を得ることが重要であると考えています。関係者の御意見を伺うとともに、財源確保のために国や県とも相談しながら、検討を進めていきたいと考えます。

質 松浦魚市場再整備に係る水産庁の補正予算の条件は、海外への輸出拡大事業が織り込まれていますが、輸出戦略について、どのような戦略を立てていますか。

水産課長 現在、魚市場関係者、市

役所、県により組織された調川港地域水産物輸出拡大協議会を立ち上げています。この組織の中で、魚市場の再整備事業の推進とあわせて、この市場を活用した輸出戦略についても、関係者で情報共有、課題の把握などに努めています。

○エネルギー構造高度化転換理解促進事業について

質 半径30キロメートル圏内の周辺地域でも再生可能エネルギーも活用して、地域住民にも多様なエネルギー構造への理解を深めるソフト事業を実施して、エネルギーと共存するまちづくりを目指すための補助事業を活用していただきたいと思います。が市の見解を伺います。

商工振興課長 このソフト事業は、住民の皆様にも再生可能エネルギーの構造の転換ということで御理解をいただくための研修会等の費用にも充当できますし、導入の可能性についての調査事業等にも活用できる事業になっています。その点について、今後検討させていただきたいと思えます。

このほか、九州電力玄海原発再稼働と安全協定、伊万里湾の海の再生と赤潮対策、スポーツ振興策、電力移出県等交付金、モンゴル交流事業などについて質問しました。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】平成30年度松浦市一般会計補正予算(関係分)

国から本市への支出金のうち、国庫負担金として2億969万8千300円が計上されました。これは、平成30年7月豪雨により発生した被災14箇所(市道9箇所、河川5箇所)の災害復旧工事費4億4010万円に係る負担金として計上されたものです。

繰越金として5億714万9千000円が計上されました。これは、平成29年度一般会計決算に伴う余剰繰越金です。なお、地方財政法第7条に基づく積立として、繰越金の約2分の1の額が財政調整基金積立金として計上されます。

市債(市の借金)として2億5040万円が計上されました。市民福祉総合プラザ整備事業費として、合併特例債により起債されたものです。

地域情報化基盤整備事業費補助金として、債務負担行為により、7億500万円が追加されました。これは、本市に超高速通信のインターネット環境を整えるため、民間企業による光ファイバー網の設置に係る費用の一部を市が補助するものです。平成31年度から平成32年度までの期間に支出される事業費補助金分です。

※債務負担行為とは、今回のように複数年にわたって事業を行う場合に行います。通常、予算は当年度分を組み、議会の議決(可決)を得て事業の実施(支出行為)を行い、翌年度事業分は翌年度に予算を組み議会の議決を得て支出するというのが原則になっています。しかし、事業によつては、複数年をまたぐものもあります。そのような場合に当年度分は予算計上し、残りの分は債務負担行為として予算書に示します。あらかじめ、議会の議決を得ておくことによつて、事業途中の年度で予算が議決されずに事業が滞り、事業者に支払がなされないなどの事態が起きないようにします。記載内容は事業名と事業全体の期間、限度額、財源などが示されます。